



# 12月のクラスだよ!

令和3年 11月 26日  
小田原市立酒匂幼稚園

さくら組

季節は秋から冬に近付き、木々の葉の色や数がずいぶんかわって来ました。子どもたちが登園途中に発見して園に持ってくる木の実や葉、枝などからも自然の移り変わりの美しさを感じられます。登園しながらの自然とのふれあいも大切にさせていただき、子どもたちの心に素敵なものが育つことを願っています。

11月は遠足、サッカー教室、玉ねぎの苗植え、わくわくデイに向けての活動など様々な体験がありましたが、子どもたちが新しいことにも進んでかかわろうとし、大きな成長を見せてくれました。

## サッカー教室

酒匂FCのコーチにサッカーの指導をしていただきました。子どもたちが楽しんで取り組めるようにしっぽりでウォーミングアップをし、たくさんのボールを使ってみんながボールに触れることのできる楽しい体験となりました。それまであまりボール遊びをしなかった子が教室後サッカーに意欲的に取り組む姿があり、体験してみることの大切さと、子どもたちをその気にさせるコーチの指導の上手さを感じました。これから寒くなりますが、サッカーを続けて元気に活動できるとよいと思っています。



## 玉ねぎ苗植え

いつも畑のことでお世話になっている鈴木さんとJAのご協力をいただき、そだてやさん(幼稚園の畑)に玉ねぎの苗植えをしました。収穫のころにはみんなが年長になっているのですね…早いものです。



## 園服たたみ

これまで机の上に脱いだ園服を広げて置いてたたんでいましたが、持ってたたむ方法を教えると、すぐに挑戦する子がたくさんいました。自分でできることが増えるのは子どもたちにとって大きな喜びと次への意欲になっています。



## 自然物を使って

遠足でもたくさん見つけましたが、秋は木の実や葉が落ち、子どもたちがたくさん拾ってくれます。そんな木の実や葉を使ってマラカスを作ったり、絵をかいたり、制作をしたりと遊びの中でたくさん活用しています。自然の不思議さや変化を感じながらの活動も大切にしたいと思います。

## 12月のさくらぐみ

- 自分の思いや考えを友達に伝えながら遊ぶ。
- 秋から冬への自然の変化に目を向ける。